



香春町

ようやく種まき

はじめました

香春町役場

まちづくり課 政策推進係

村上 有希

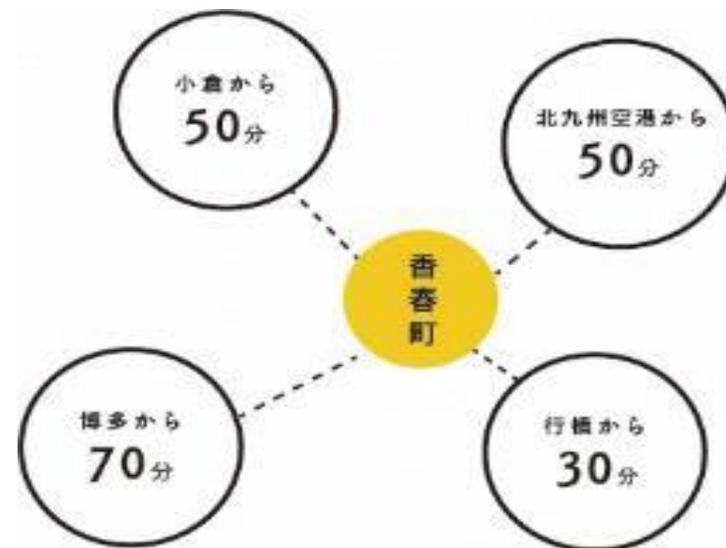
# 香春町の場所



## ▼ 町の概要

人口 10,855人  
(令和2年1月6日現在)

## ▼ 「都市間イナカ」



## ▼ 「九州筑豊ラーメン山小屋」発祥の地

## ▼ 山が多く中山間地域と呼ばれる地域

# 香春町の主な特産品



干し柿の精  
カッキーくん →



とーん！！



香春岳

むらかみ ゆき

村上 有希 (36) 福岡県 糸島市出身

香春町役場

まちづくり課 政策推進係

平成16年 三陽商会 入社  
大丸福岡天神店 バーバリーにて  
販売社員として勤務 21年退社

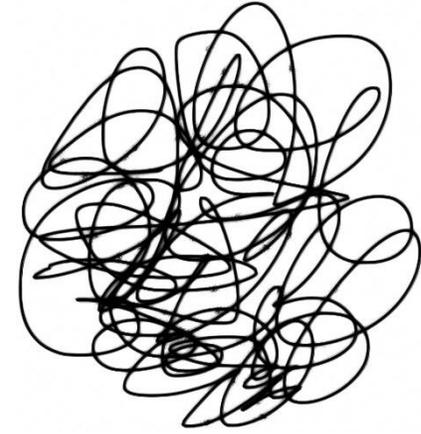
平成22年香春町役場 入庁  
勤続年数10年目  
産休育休を2回取っているので実際は  
10年も働いていない

人が好き。お酒が好き。楽しいことが好き。



# みんなが不安を抱えているまちの行く末

- ・人口が減少し、高齢化率は県内ワースト4を維持。
- ・出生率も昨年度の約3分の2に。
- ・農業従事者の減少と耕作放棄地の増加。
- ・隣組加入率の低下。



キーワードをどう受け取るのか

「地方創生」 「小さな拠点」 「地域運営組織」  
「SDGs」 「Society 5.0」 などなど

平成30年度「小さな拠点」づくり全国フォーラムに参加

…そこで学んだこととは

キーワードは

ズバリ！



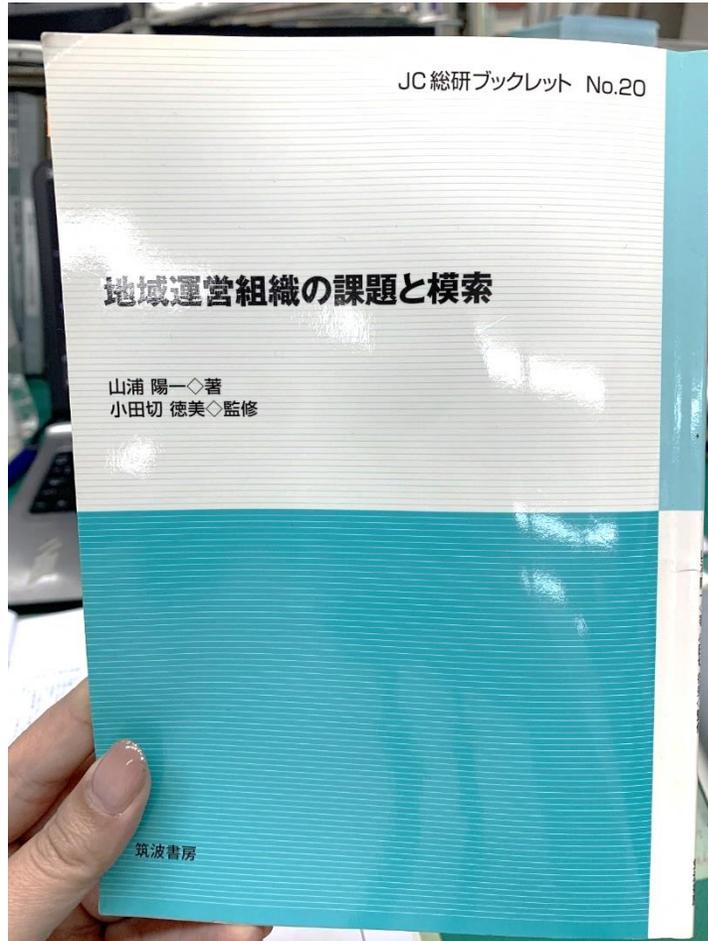
小田切徳美 先生

明治大学農学部教授  
地域の課題解決のための  
地域運営組織に関する有  
識者会議座長（内閣府）  
など



「プロセス」の重要性 と 中間支援組織

実は、この前に偶然読んでいた！



- ①主体性・当事者意識醸成の不十分さ
- ②受動的・総花的な組織編制
- ③既存組織と事務局への依存

### 3つの課題と対応策

まず、市の危機感やこれまでの行政手法の踏襲により、行政主導での設立となり、そのことがフルセット型の組織構造の導入や、既存組織への依存とつながります。行政が主導し、しかもかなりタイトなスケジュールは、住民と当事者意識の希薄さや、受け身的な姿勢を生み、部会の形骸化や事務局の負担増となって活動が停滞します。またフルセット型の組織構造は、ニーズの少ない、もしくは活動主体が限られる部会等が生まれてしまい、人材やその他資源が分散し、活動の停滞につながります。既存組織への依存や当て職による人材の確保も、当事者意識の希薄さの原因となります。

—地域運営組織の課題と模索より一部抜粋—

設立のプロセスを見直す必要アリ！！

# 分科会 1 [地域運営組織の設立・運営のプロセス] まとめ

## ■ プロセス認識の意識

1 プロセスが見えないから「数（数値目標）」を優先

2 プロセスが見えないから「短期成果」を求める

3 プロセスが見えないから「政策依存」が発生する

⇔ プロセス内では多様な主体が協働すべきもの ⇒ 新しい実践

≪数≫ ≪短期≫ ≪政策依存≫ を乗り越える **プロセスデザイン** が重要なポイント

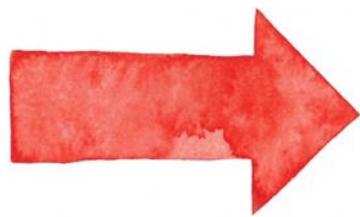
## ■ 中間支援組織の活用の理由

1 行政職員だけでは人力的に限界があるということ

2 住民対役所職員という対立の構図になりがちな部分を回避すること

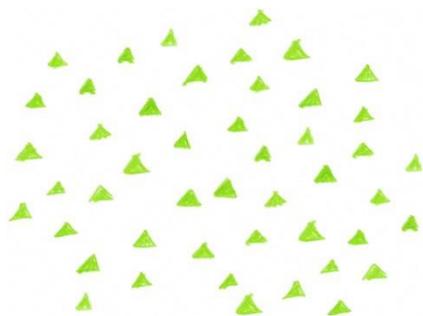
3 専門的な知識やノウハウが必要ということ

で、まず、何から始める??



地域デザインの学校との出会い

@社会教育センター



いよいよ はじめての 種まき へ

「これからの暮らしを一緒に作る！」

# 地域デザイン の 学校



Community Design School in Kawaramachi

in 香春町

受講生募集中!!



2019年

開催日 8月31日(土)、9月14日(土)、10月6日(日)、10月19日(土)

申込み締切 8月20日(火) 定員/参加費 15名/参加無料・要事前申込み

香春町 主催：香春町まちづくり課 企画・運営：NPO法人ドネルモ

地域デザインの学校 香春町 検索

入学式の様子





# 地域デザインの学校

事業のご説明

---

NPO法人ドネルモ



## NPO法人ドネルモ

超高齢社会を見据え、  
1人ひとりの可能性が  
誰かと関わることで  
かたちになってゆく  
社会をつくる

- 設立：平成24年3月
- 所在地：福岡市博多区  
上川端9-35冷泉荘B45
- 職員数：6名
- 正会員：13名



## 地域デザインの学校とは…



**住民主体の活動が生まれる 場づくり を通して、  
地域の「支えあいのかたち」を豊かにするプロジェクト**

- ① 地域に馴染みの薄かった人々と、  
既に活動をしている人々が  
学びあう場を通じて、
- ② 「やりたいこと」や「興味のあること」から  
地域での活動を生み出し、  
お互いにつながりながら
- ③ 「支え合いのかたち」を  
豊かにしていくプロジェクト



# 講座のプログラム内容

## できることシェア

互いのできることを見つけ合う  
インタビューワーク



## ファシリ体験

「対話」の場づくりのための  
ファシリテーター役を体験



## ケースワーク

地域の課題と企画作りを想定  
したケースワーク



## チーム・企画づくり

やりたい事を基にしたチーム  
結成と企画の具体化



## 企画発表・意見交換

卒業式で企画発表し、地域や  
事業者の方と意見交換・交流



## アフターフォロー

活動実現に向けたサポートや  
関係組織団体の紹介など



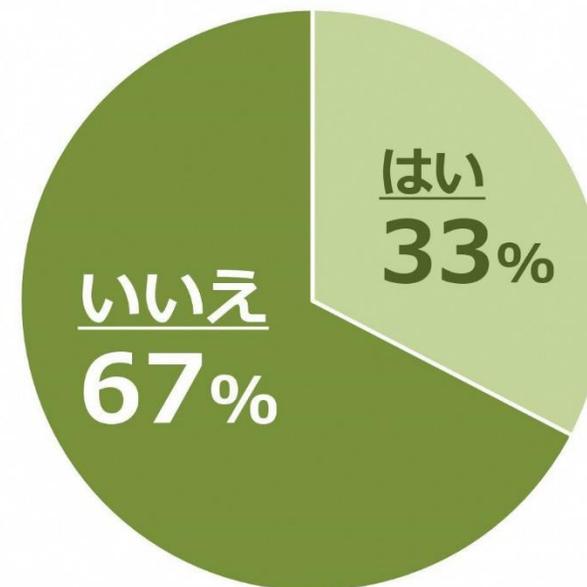


## 地域活動に関わりの薄い層からの参加が約7割

### 受講生の特徴（H26.4~H31.3）

- ◆ **受講生総数305名**
- ◆ **約7割が既存の地域活動への関わりが希薄**  
「地域活動に関わりの薄い層」からの参加多
- ◆ **10代~80代までの多世代が集う場**  
30代~40代が57%
- ◆ **属性が多様**  
サラリーマン、自営業者、主婦、福祉関係者、  
自治協関係者、定年後の方、学生…等
- ◆ **地域と関わるきっかけを求めて**  
受講理由の多くは、明確な目的意識ではなく、  
「地域と関わりたい」等漠然としたものが多数

地縁活動  
(自治会・子供会・PTA等)に  
参加していますか？



※受講生へのアンケートより

## 受講生の約9割(87%)が行動変容&地域への波及効果

受講生

活動者：**305**人

(受講生：320人)

自治協等の地縁組織  
に加入した受講生：**10**人

地デザへの協力者

ヒアリング協力者：約**280**人 卒業式意見交換協力者：約**420**人

企画への協力者

卒業後立ち上がったチーム数：**73**チーム 活動実施数：**105**回

受講生以外の活動協力者：**210**名

活動の受益者

イベント参加者等：約**6,650**名

# 「住む」まちから 「暮らす」まちへ

- ① 自分たちで「暮らし」をつくる
- ② 「やりたいこと」から地域につながる
- ③ 自分なりの関わり方を見つける



## ファシリテーション体験：4人の役割

**4人1組（ファシリ1名、書記1名、話す人2名）で対話**



### ファシリテーター

「対話の場」の守り立て役

- 意見が出ない  
→ 上手く促す
- しゃべりすぎの人がいる  
→ 他の人に発言を促す
- 話が逸れている  
→ 本題に戻す



### 書記

話し合いの**内容**と  
話し合いの**やり方**を  
メモにとる  
(ふりかえり用)



### 話す人

テーマについて  
話をする

## 地域デザインの学校は…

自分の暮らす地域のことをめぐって

**気兼ねなく、話をする**

**何か始めるきっかけを探す**

**つながりをつくる**

**実際に何かをはじめてみる**

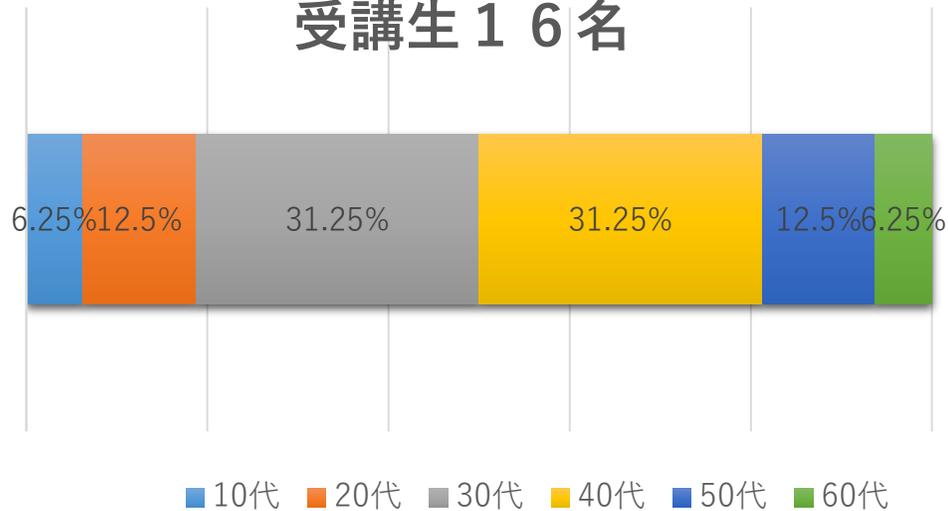
**「学びあいと実践の場」** です。



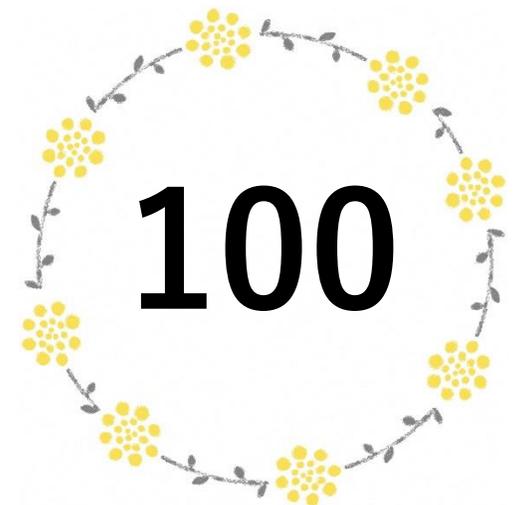
# 香春町で関わってくれた人

## 地域デザインの学校in香春町

受講生 16名



- お試しミニ講座 21名
- ヒアリング対象者 15名
- 卒業式出席者 35名
- スタッフ研修参加者 13名





## 地デザの巧みなパッケージ

受講生が自ら

動き・集まり・考える 仕組み



# 5つの面白そうなアイデアが生まれる

## ★大人の為のお店やさん体験

大人が気軽にチャレンジできる場所の提供をする

## ★農Runキャン

～農園の中のキャンプ場～

香春町の自然を活かす『体験』の提供をする

## ★vivreさいど

～防災活動を通じて採銅所小学校を残す～

学校で防災運動会を実施する

## ★かわらまちみんなで子育て計画

地域がみんなですべて子どもを育てる

学童や公民館活動などで地域住民を子育てに巻き込む

## ★香春町で永住

～誰も取り残さない持続可能な社会に向けて～

香春町をPRするイベントを実施し海外へも町の魅力を届け、外国人も含めて誰もが住みよいまちづくりをする



# 早速、活動しているみなさま



勝手に

## マルシェイベント「THE MARKET」の実施

### 草刈り機レクチャー

地域デザインの学校 香春町

白石 智一  
 創立メンバー・火曜日 8:31・国

おはようございます。チーム「農Runキャン」改め、チーム「JAICO」の白石です(笑)  
 本日『即位礼正殿の儀』の祝日ではありますが、13時より呉ダムの休耕田にて草刈りを予定しております。香春町役場まちづくり課、坪根さん所有の最新鋭の草刈機【ハンマーナイフモア】の体験会も兼ねております(笑)お時間ある方はご参加してみてください(^^)



12人 コメント5件 既読: 14人



香春でマルシェにぎわう 地域おこし協力隊企画



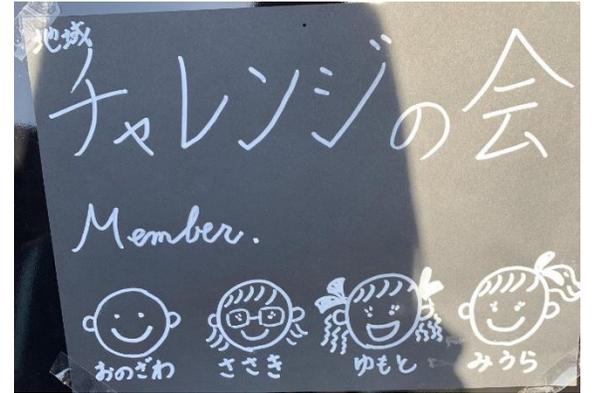
手作りの品々や地元産品を販売する「マルシェイベント」が15日、香春町のJR香春駅近くで開かれ、家族連れらでにぎわった。

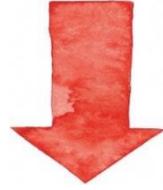
駅前「小商い」の場を作る(02)は、相模原市出身で町地域おこし協力隊の小野沢春輝さん(02)が、町内の知人ら呼びかけて企画。米や野菜などを販売する店が並んだ。

小野沢さんは後、毎月1回の菓子作り教室を自宅で開催。町中津原の佐々木寿子さん(02)は、友ら4人と手作りクッキーを販売。「以前から店を挑戦してほしい」と話していた。

小野沢さんは後、毎月1回の菓子作り教室を自宅で開催。町中津原の佐々木寿子さん(02)は、友ら4人と手作りクッキーを販売。「以前から店を挑戦してほしい」と話していた。

手作りクッキーを買う家族連れ





それぞれの企画や活動を通して  
地域デザインの学校に参加された方の変化



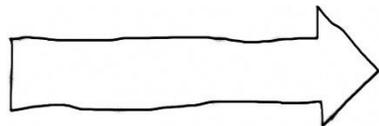
「THE MARKET」の様子

- ① 「まちづくり」 = めんどくさい  
から **「楽しいかも」** へ考えの変化
- ② 自分の町の事は **自分たちで** という  
意識の変化
- ③ そして、**とりあえずやってみると**  
いう行動の変化

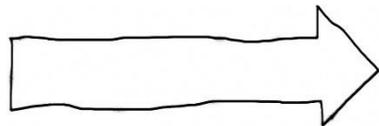
# タネまき作業は続く…

廃校となる地域をテーマに  
住民との意見交換会を開催

- ①まずは、住んでいる地域の学校について思う事を話してもらう
- ②行政と住民の「対話」をする



ワガゴト化



主体性の醸成



**参加者募集!**

小・中学校の統廃合に伴い、地域の将来や廃校の活用について、皆さんの意見交換やアイデア出しをします。ワークショップによる楽しいつどい。ぜひご参加ください!

**当日、飛び入り参加もOK!** 2019年12月3日から2020年1月30日まで  
各小学校区ごとに2回ずつ開催 **詳しい日時・会場は裏面をご覧ください**



行政区長、PTA、地域活動をされている方、20代～30代の若者、子育て世代、移住者、その他香春町にお住いの皆さんなら誰でも大歓迎です。

**定員 50名**  
(申込の方優先)

## お申込み方法

**TEL** 0947-32-8408 (香春町役場まちづくり課 政策推進係)

**FAX** 裏面をご利用ください **申込フォーム** 右QRコードからも申込みできます

**E-mail** 裏面の必要事項をご入力の上、メールを送信ください  
yuki\_murakami@town.kawara.fukuoka.jp(担当:村上)



●託児あり【要申込み】裏面FAX参加申込書に記入いただくか、各回の1週間前までにお電話やEメールにてご予約ください。

\*このつどいは小学校区ごと・年代別ごとに無作為抽出された方々と、公募による任意参加による方々により行います。

問い合わせ **0947-32-8408** (香春町役場まちづくり課 政策推進係)

主催/香春町



「廃校と地域の未来を考えるつどい」の様子  
延べ4回（小学校区ごとに実施）計110人の方が参加



## 私が学んだ事

- ・まちづくりには時間がかかるということ
- ・プロセスのデザインを考えるということ
- ・必要であれば中間支援組織を使うということ
- ・面倒だけれど「対話」を丁寧に重ねるということ
- ・低いハードルを設定し、成功体験を重ねるということ



何より私自身がワクワク感を持つこと